

木造住宅耐震改修助成制度 平成18年度から実施

杉本議員の質問に答えて木浦正幸市長は、「木造住宅耐震改修助成制度を平成18年度から実施すること」を明らかにしました。また、市独自の被災者生活再建支援制度の創設も検討することを表明、生活支援に向けて大きな一歩を踏み出しました。

木浦市長は答弁の中で助成制度創設について、「地震によ

る家屋の倒壊が救助活動や消火活動に大きな障害をもたらしてきたこれまでの事実を照らし、災害を未然に防止し災害に強いまちを整備するという大きな目的のためにも、個人が行う改修工事に対し、市が一定の補助を行うこととした」18年度から実施するために、補助要綱の策定に向けて準備をすすめている」とのべました。また支援制度については、国の制度は被災者が真に必要とする支援との間にへだたりがある」として、「他の自治体の施策も参考にしながら、検討する」と約束しました。

市民の命と暮らしを守る課題で全力 日本共産党議員団が一般質問

26日の一般質問では、日本共産党市議団の3人が登壇し、災害対策、水道料金統一、保育行政など市民の暮らしを守る課題で奮闘しました。

災害対策では市独自の制度創設や地域防災計画見直しで重要な答弁を引き出しました。また注目の水道料金は、08年度（平成20年度）に統一される見通しとなりました。



市長、健診事業のメニューの充実と体制強化約束

健康診査事業をとりあげた樋口議員は、これまで一生懸命がんばってきた保健師など

の「面談による結果がえしは自分の体を知り健康に気をつけるという面で大変重要」という声を紹介、「合併前の町村で実施されていたメニューや面談による結果がえしの体制など良いものは採り入れべきだ」と質問しました。

これにたいして木浦市長は、「尿酸検査は実施していない区でも来年から実施する。三和区の頸動脈エコーも実施を検討する。結果がえしの体制は、国の指針でも強調しているので検討する」と約束しました。

また樋口議員は、板倉区統合保育園整備について、敷地内を「この字型」に流れる排水路の安全性確保や関係住民の声の重視を訴えました。市長は安全性を確保し、住民の声を聞きながら事業を進めるべく努力するとのべました。

橋爪議員は今年の豪雪、水害の経験を踏まえて、区総合事務所長の権限強化、防災担当部署の強化、地域防災計画の見直しのあり方などで質問しました。

木浦市長は、「防災計画見直し案を各区の地域協議会からも検討してもらおうべき」との同議

地域防災計画見直しでは地域協議会との協議も視野に

員の提案にたいして、「基本的には防災会議の専決事項だ

が、これまでの経緯や地域の実情も考慮し、地域協議会の活用も含め検討する」と答えました。区総合事務所については、「所長への権限委譲を含め、防災責任者としての位置づけをさらに明確化し、区内の事情に精通している職員を防災担当として配置する」とのべました。

旧上越市と各区で開きのある水道料金については、今回大瀧など3区と統一、その後、遅くとも2008年度（平成20年度）には一斉に統一することが明らかにされました。

日本共産党上越市議団ニュース

25 2005年10月2日

連絡先	杉本敏宏	524-3787	(東本町5)
	樋口良子	544-6802	(中門前3)
	橋爪法一	548-3628	(吉川区代石)
事務局長	上野公悦	530-2203	(頸城区中柳町)